

### 社会共創

新産業や魅力的な地域の創生



2022

- 社会共創のための組織強化
- 新潟の重点共創領域設定して  
**領域別地域連携プラットフォーム設置**

2030

- フラッグシップ研究を源に産業界に開かれた共創拠点形成**
- 地域新産業創出や伝統産業界の強化

**産学連携**  
組織型共同研究

**地域協働**  
社会的インパクト  
マネジメント

**共創人材育成**  
地域リカレント教育  
アントレプレナー教育

未来社会創成に向けたキャンパス実証

- イノベーションコモンズ整備
- スマートキャンパスの推進



### 教育・学生支援

未来地域社会を担う人材の育成

2022

- DX教育環境の強化・整備
- 融合大学院プログラム設置

**未来教育**  
データサイエンス  
DX教育環境  
国際交流・国際連携

**メジャーマイナー制**  
文理を横断した教育プログラム

**大学院教育**  
分野横断研究  
文理融合研究  
PhDリクルート

2030

- 社会とつながった学修者本位の教育システムの構築
- デジタルとリアルが融合した未来教育の展開

### 経営力強化スパイラルシステム

新潟地域の特色を活かす中核拠点研究大学へ

新潟地域の  
中核拠点  
そして世界へ

### 研究推進

(新潟大学将来ビジョン2030)

最先端国際融合研究の推進  
特色あるフラッグシップ研究の創生



2022

- 研究強化のための組織整備
- 研究環境と国際化の強化

**研究環境強化**  
機器共用の強化  
コアファシリティ

**国際研究推進**  
国際化マネジメント  
強化

**研究人材育成**  
若手活躍支援  
ダイバシティ

2030

- ヘルス・ライフサイエンス  
脳臨床国際研究拠点形成**
- 新規フラッグシップ研究の  
創出

国際研究交流を推進



国際社会に開かれた  
グローバルキャンパスへ



新潟大学の研究の強みと特色が社会共創（産学連携、地域創成）を生み出し、これが研究強化や新しい研究領域を創出し、優秀な人材の獲得・育成につながっている

## 社会共創

### 産学連携・地域協働の強み

#### 組織型共同研究の推進

個別研究から組織型研究へ  
産学連携強化経費の設置

#### 【共同研究費獲得額】

6年間で2.6倍

(2.2億円/年 ⇒ 5.8億円/年)

#### 【民間企業との大型共同研究費受入額ランキング】

1068機関中**28位**（2020年）



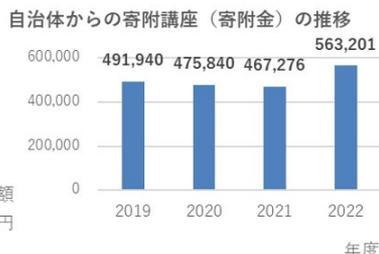
#### 地域との共創による地方創成の推進

#### ○地域連携プラットフォームの形成

- ・新潟大学産学連携コンソーシアム
- ・新潟大学地域連携協議会

#### ○自治体との連携協定（10自治体）

地域・自治体等から寄付額、クラウドファンด์が急増



#### ○地域・大学・自治体協働プロジェクト

の構築を多数実施

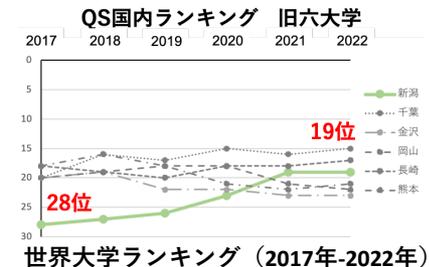
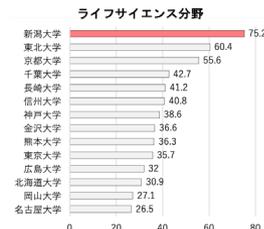
- ・水ラボ（土木河川工学産学官連携）
- ・Sakeology 日本博（日本酒学センター）
- ・佐渡共生農業（JSTプロジェクトDesign-I）
- ・耐環境種苗開発（刈羽村）

## 研究推進

### 研究の強み

国際的優位性 **国際的優位性を持つ研究領域「ヘルス・ライフサイエンス分野」が強み**

- ・Q1ジャーナル掲載論文数やTHE分析に基づく高い評価
- ・脳研究所の国際的なブレインバンクに基づく国際共同研究



### 研究の特色

**新潟地域独特の研究領域が強み**

- ・耐環境性コシヒカリ研究
- ・地域医療研究（コホート研究、遠隔医療研究）
- ・日本酒学研究
- ・豪雪災害研究
- ・佐渡自然共生科学研究

### 優秀でユニークな若手人材の獲得

#### 中津 史 准教授

（医学部医学科）  
脂質が交換輸送の分子メカニズムを発見。高被引用論文を発表

PRIME (AMED)等採択

#### 豊田 光世 准教授

（佐渡自然共生科学センター）  
地域住民や行政と共に『対話の場』を形成し、地域の課題抽出と解決に向けた取組を実施

Design-i 等採択

# 経営力強化スパイラルシステム（強みを伸ばす財務基盤強化）

## 外部資金収益機能強化

外部資金獲得を**研究系、企業系、地域系**、3つの資金の個性にあった機能強化を実施

特に、**①産学連携強化エンジン**、**②地域協働強化エンジン**を本事業で強化することで組織型共同研究と地域共創プロジェクトを強化し、**事業費等の外部資金収入を増加**

## 社会共創

企業・産業界の強み

研究の強み・特色

地域の強み

②地域協働強化エンジン

①産学連携強化エンジン

組織型共同研究強化

地域共創プロジェクト強化

外部資金収入の組織的な拡大  
財務基盤強化

## 研究推進

## 研究の強みをさらに強化

国際的優位性

「ヘルス・ライフサイエンス分野」

研究の特色

新潟地域独特の研究領域

- 国際共同研究の推進  
クロスアポイントメント等を活用し、外国人PIを増加
- 研究環境の強化  
共用機器センターが全学一括管理して、大型設備をはじめ設備のリモートでの利用を含め学内外の共同利用を推進

## 経営力強化スパイラル

組織を強化し経営強化を実現

産学連携IR 研究IR  
施設IR IR機能の強化 財務IR  
設備IR 教育IR

重点領域、新領域への人・研究環境・資金等の投資

★：本事業費を活用した取組

## 人材育成

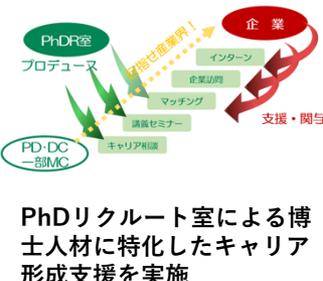
### 優秀な若手研究者・大学院生の獲得・育成・活躍

#### スイングバイ・プログラム

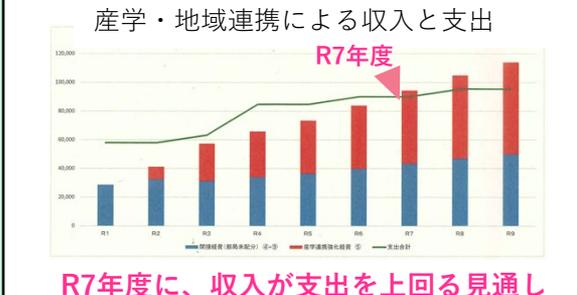
本部主導で若手教員を一括採用し、戦略的に配置（新採用者の80%）



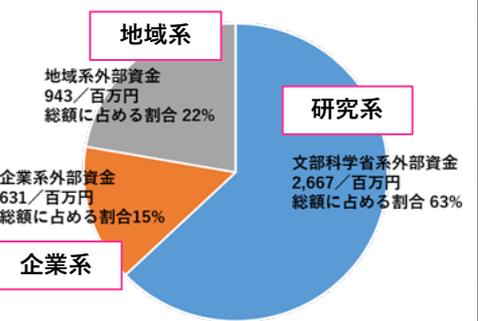
#### PhDキャリアパス育成



#### 運営収支バランスの下での再投資



2021年度外部資金の内訳（総額：4,241/百万円）



## 学長裁量経費

# 外部資金収益機能強化策～①産学連携強化エンジン～

## 組織型産学研究推進



## 個人型共同研究から組織型共同開発研究へのマネジメントを強化

- ①知財技術移転型から共同開発型へと研究営業を積極的推進
- ②組織型研究での基本的な考え方
  - ・イコールパートナー
  - ・ゴールミッションの共有化

## 強化策

### 優秀な外部専門家の獲得による研究営業力強化

- ✓ ライフサイエンス推進室を新設（R4年4月）  
共同研究企画および交渉、国際知財の管理を強化
- ✓ 創薬領域のクリエイティブマネージャー(CM)を配置  
40件以上の有力候補を発掘
- ✓ 協働する健康関連専門CMを配置し、ヘルス・ライフサイエンス分野とフードサイエンス分野の組織型共同研究のための研究営業力を強化
- ✓ 知財管理専門家(IPM)の配置  
CMと協働する医薬専門の知財管理専門家(IPM)を配置し、知的財産管理を強化
- ✓ 創薬・薬学系産学連携コーディネーター(CD)を配置  
CMやIPMと協働するCDを配置し、研究シーズの展開と企業ニーズの把握を強化

### 産学イノベーション推進部門

#### ライフサイエンス推進室



\*本事業で配置

## 本事業による効果

- ・ヘルス・ライフサイエンス領域の組織型共同開発研究が強化・推進される。
- ・民間共同研究費 現状計画の1.4倍に、ランキングを10位代へ

## 企業ニーズ

- ・動物実験とヒトに関する試料やデータ処理に関する研究開発
- ・臨床脳試料および臨床データ（ブレインバンク）の民間活用
- ・病院に隣接したオープンイノベーション(OI)施設
- ・組織型共同研究推進

## 産学協働のための学内拠点の整備



## 組織型共同研究実績 R4.4.1時点



# 外部資金収益機能強化策～②地域協働強化エンジン～

## 領域別地域連携プラットフォーム（共創IP\*）の構築推進

\*共創IP:共創イノベーションプロジェクト

### 個人型地域貢献活動から組織的な地域創成へのマネジメントを強化

- ①地域共創プロジェクトを活用した領域別地域連携プラットフォーム（共創IP）の構築
- ②未来会議（対話）をもとにした未来型地域課題の抽出
- ③未来志向の地域産業クラスターの創出へ
  - ・魅力的な地域の創出
  - ・伝統産業の強化、新産業の創出
  - ・地域エッセンシャル人材育成

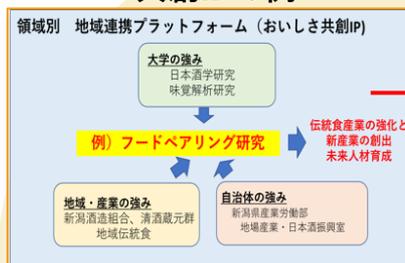
### 新潟重点領域の設定

新潟県の国際的優位性やブランド力があるエリアを分析し、地域との対話のもとに、本学として6つの「新潟重点領域」を設定

- |              |            |
|--------------|------------|
| a. コメおよび加工領域 | d. 雪災害復興領域 |
| b. 新潟清酒領域    | e. 棚田農業領域  |
| c. 金属加工領域    | f. 地域医療領域  |

\*6領域いずれも新潟県総合計画と合致

### 共創IPの例



### 地域系外部資金獲得実績

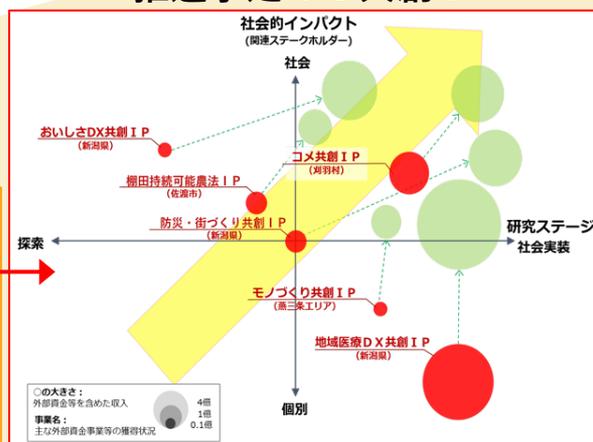
- ・地域系外部資金（9.4億円/年）は企業系資金を上回っている。
- ・寄附金、クラウドファンด์は大幅な伸び。
- ・連携協定自治体数は10件、多数の自治体共創プロジェクト構築を行っている。（37件：R1～3年度）



### 実施事業

- ・水ラボ（土木河川工学産学官連携）
- ・日本酒（日本博事業、クラウドファンด์）
- ・佐渡共生農業（JSTプロジェクトDesign-I）
- ・耐環境種苗開発（刈羽村）

### 推進予定の6共創IP



### 強化策

優秀な外部専門家の獲得配置によるインパクトマネージメント力の強化による地域創成の本格化および多様な資金獲得体制の強化

- ✓ **インパクトマネージャーを配置**  
地域課題解決のためのプロジェクト構築を行う**インパクトマネージャーを2名本事業で配置**し、1名を学内経費で配置し、組織的共創を加速する。
- ✓ **新潟重点領域において6つの共創IPを構築**  
地域協働の新しい事業構築や事業費の獲得など、事業のエコシステムとしてのプロジェクト化を行う。
- ✓ **社会的インパクトをより高めるための事業を推進**
- ✓ **寄付部門に専門家（学内経費1名）を配置して営業力強化**

### 本事業による効果

- ・大学が核となり共創IPを持続的に創生・発展させる組織的創成システムが確立され、新潟地域の特色ある研究が強化
- ・地域系外部資金の30%増